



2006 年 10 月 04 日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 野木森 雅郁
コード番号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東 証 ・ 大 証 (各 第 一 部)
決 算 期 3 月
問 合 せ 先 広報部長 田中 昭弘
Tel : (0 3) 3 2 4 4 - 3 2 0 1

生産子会社合併に関するお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：野木森 雅郁、以下「アステラス製薬」）は、2007 年 4 月 1 日付けで、当社の生産子会社であるアステラス東海株式会社（本社：焼津市、社長：田頭 進、以下「アステラス東海」）、アステラス静岡株式会社（本社：富士市、社長：吉村 敏行、以下「アステラス静岡」）、ならびに治験薬製造子会社であるアステラスクリニカルサプライ株式会社（本社：大阪市、社長：平林 敏、以下「アステラスクリニカルサプライ」）の合併を決定しましたので、お知らせします。

今回の合併により、アステラスグループの日本国内での医療用医薬品生産子会社は、アステラス富山株式会社（生産拠点：富山工場、高岡工場）、アステラス東海株式会社（生産拠点：焼津工場、富士工場、西根工場）、アステラスファーマケミカルズ株式会社（生産拠点：高萩事業場）の 3 社に集約されることとなります。

このたびの合併に伴う概要は次のとおりです。

[記]

1. 合併の目的

現在焼津、加島の 2 地区にある治験薬製剤・包装機能を製剤研究所に隣接する焼津地区に集約（09 年度初を予定）するとともに、同じ東海地区にある焼津工場と富士工場との設備、要員面での効率性向上の体制を整えることで、治験薬の適時・的確な供給、スムーズな新製品生産への対応、アステラスグループにおける製品の安定供給ならびに製剤、包装技術向上に寄与することを目指します。

また、高萩、加島の 2 地区にある治験原薬製造機能につきましては、原薬製造会社であるアステラスファーマケミカルズに管理機能を統合し、治験原薬製造機能の強化をはかります。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

2007 年 4 月 1 日 合併

(2) 合併の方法および合併後の状況

アステラス東海株式会社を存続会社とする合併方式によります。

合併後の新子会社の概要は下記のとおりです。

会 社 名： アステラス東海株式会社
発 足 年 月： 1986 年 1 月 25 日
本 社： 静岡県焼津市大住 180
代 表 者： 未 定
資 本 金： 100 百万円
総 資 産： 51,892 百万円（2006 年 3 月 31 日現在）
従 業 員 数： 約 1,100 人（2006 年 3 月 31 日現在）
事 業 内 容： 医療用医薬品および治験薬の受託製造 等

3. 合併当事会社の概要（2006 年 3 月 31 日現在）

会社名	資本金	設立年月日	主な事業内容
アステラス東海(株)	100 百万円	1986 年 1 月	医薬品等の製造販売および輸出入
アステラス静岡(株)	350 百万円	2003 年 10 月	医薬品等の製造販売および輸出入
アステラスクリニカルサプライ(株)	10 百万円	2003 年 4 月	治験原薬及び治験薬の製造

4. 業績に与える影響

この合併による当社への業績の影響は軽微です。

以 上